

## 平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月2日

上場会社名 株式会社メガチップス 上場取引所 東  
 コード番号 6875 URL <http://www.megachips.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)高田 明  
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役執行役員 財務統括部長 (氏名)藤井 理之 (TEL) (06) 6399-2884

四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家・アナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	57,122	27.7	583	△62.5	615	△57.4	△283	—
30年3月期第2四半期	44,715	51.7	1,556	—	1,444	—	1,382	—

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 △743百万円 ( — %) 30年3月期第2四半期 2,547百万円 ( — %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	△13.01	—
30年3月期第2四半期	64.03	63.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	112,539	29,749	26.4	1,366.99
30年3月期	94,633	31,184	33.0	1,435.37

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 29,749百万円 30年3月期 31,184百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	34.00	34.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、利益配分に関する基本方針に基づき期末日を基準日として年1回の配当を実施しております。配当金額については、中期的な経営状況の見通しを考慮の上、親会社株主に帰属する当期純利益の30%以上に相当する額を配当金総額として決定しております。現在、具体的な配当予想額は未定のため、期末配当金の予想を「—」と表記しております。

### 3. 31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	12.3	900	△66.8	300	△86.4	△700	—	△32.16

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	31年3月期2Q	23,038,400株	30年3月期	23,038,400株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	1,275,372株	30年3月期	1,312,871株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	31年3月期2Q	21,747,660株	30年3月期2Q	21,594,189株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び本資料の発表日現在において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は今後の様々な要因によって予想と大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算説明資料については、四半期決算短信開示後速やかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	P. 5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 7
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	P. 7
(追加情報) .....	P. 7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、MEMSタイミングデバイスについて一部の特定製品の需要が減少したものの、ゲームソフトウェア格納用LSI（カスタムメモリ）及びSmart Connectivity LSIの需要がそれぞれ増加したことにより、売上高は571億2千2百万円（前年同四半期比27.7%増）となりました。また、企業買収によるのれん及び無形固定資産の償却費が12億8千6百万円発生したこと、将来に向けた開発投資により研究開発費が37億9千8百万円（同29.1%増）となったこと等により、のれん等償却前の営業利益は18億7千万円、のれん等償却後の営業利益は5億8千3百万円（同62.5%減）となり、経常利益は6億1千5百万円（同57.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億8千3百万円（前年同四半期は13億8千2百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

当社グループは単一の事業セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,125億3千9百万円（前連結会計年度末比179億6百万円の増加）となりました。主要な項目を前連結会計年度と比較すると、受取手形及び売掛金が259億9千万円増加した一方で、現金及び預金が53億9千万円、商品及び製品が10億5百万円、のれんが10億7千2百万円それぞれ減少しております。

負債合計は827億8千9百万円（同193億4千万円の増加）となりました。主要な項目を前連結会計年度と比較すると、支払手形及び買掛金が103億6千7百万円、1年内返済予定の長期借入金が90億円、長期借入金が10億円それぞれ増加しております。

純資産は297億4千9百万円（同14億3千4百万円の減少）となりました。この結果、自己資本比率は26.4%（同6.6ポイントの下降）となりました。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、139億5千4百万円となり、前連結会計年度に比べ54億9千5百万円の減少（前年同四半期は37億8千9百万円の減少）となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、116億6千9百万円の資金の使用（前年同四半期は36億7千8百万円の資金の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が4億5千3百万円（前年同四半期は21億9千3百万円の税金等調整前四半期純利益）となり、減価償却費が15億1千8百万円、のれん償却額が8億9千6百万円それぞれ発生したこと、仕入債務が103億1百万円の増加となった一方で、売上債権が259億5千6百万円の増加となったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、24億1千5百万円の資金の使用（前年同四半期は18億9千1百万円の資金の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が6億2百万円、無形固定資産の取得による支出が6億7千3百万円、投資有価証券の取得による支出が5億4千6百万円あったことによるものであります。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合算したフリー・キャッシュ・フローは、140億8千4百万円の資金の使用（前年同四半期は55億7千万円の資金の使用）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、86億1千6百万円の資金の獲得（前年同四半期は18億8千万円の資金の獲得）となりました。これは主に、長期借入による収入が110億円あった一方で、長期借入金の返済による支出が10億円、配当金の支払額が7億3千6百万円あったことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

主にゲームソフトウェア格納用LSI（カスタムメモリ）の需要が前回想定を上回る見込みとなったため、平成30年8月2日に公表いたしました「平成31年3月期第1四半期決算短信[日本基準]（連結）」に記載の平成31年3月期の連結業績予想値を修正いたしました。詳細は、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,653,114	14,262,928
受取手形及び売掛金	26,776,181	52,766,449
商品及び製品	4,470,576	3,465,227
仕掛品	2,135,266	2,069,986
原材料及び貯蔵品	739,059	1,252,177
その他	3,119,929	2,925,017
貸倒引当金	△20,655	△20,440
流動資産合計	56,873,472	76,721,346
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,749,430	4,761,329
減価償却累計額	△3,140,560	△3,197,059
建物(純額)	1,608,869	1,564,269
その他	10,714,039	10,917,030
減価償却累計額	△7,131,048	△7,524,112
その他(純額)	3,582,990	3,392,918
有形固定資産合計	5,191,860	4,957,187
無形固定資産		
のれん	12,616,640	11,544,391
技術資産	4,158,266	3,681,584
その他	6,592,153	6,769,318
無形固定資産合計	23,367,060	21,995,294
投資その他の資産		
投資有価証券	3,747,120	4,059,484
長期前払費用	2,391,097	2,074,429
繰延税金資産	1,629,299	1,513,156
その他	1,433,441	1,218,711
投資その他の資産合計	9,200,959	8,865,782
固定資産合計	37,759,880	35,818,264
資産合計	94,633,352	112,539,611

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,557,394	21,924,899
短期借入金	17,060,480	16,421,600
1年内返済予定の長期借入金	4,000,000	13,000,000
未払法人税等	545,353	956,032
賞与引当金	667,536	611,442
工事損失引当金	—	13,418
その他の引当金	—	10,000
その他	3,257,657	2,958,777
流動負債合計	37,088,422	55,896,169
固定負債		
長期借入金	24,000,000	25,000,000
繰延税金負債	1,192,469	989,530
その他	1,168,269	904,109
固定負債合計	26,360,739	26,893,639
負債合計	63,449,161	82,789,809
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,840,313	4,840,313
資本剰余金	6,183,562	6,183,846
利益剰余金	18,524,246	17,502,569
自己株式	△1,656,229	△1,608,924
株主資本合計	27,891,893	26,917,805
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,241,184	3,034,993
為替換算調整勘定	51,112	△202,996
その他の包括利益累計額合計	3,292,297	2,831,996
純資産合計	31,184,191	29,749,801
負債純資産合計	94,633,352	112,539,611

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	44,715,200	57,122,588
売上原価	34,059,772	46,922,582
売上総利益	10,655,427	10,200,005
販売費及び一般管理費	9,099,399	9,616,305
営業利益	1,556,028	583,699
営業外収益		
受取利息	2,950	5,843
投資事業組合運用益	9,372	936
未払配当金除斥益	3,016	1,884
為替差益	4,609	268,902
雑収入	5,126	4,552
営業外収益合計	25,075	282,119
営業外費用		
支払利息	109,536	234,922
借入手数料	13,230	—
雑損失	14,304	15,832
営業外費用合計	137,070	250,755
経常利益	1,444,032	615,063
特別利益		
投資有価証券売却益	925,154	—
特別利益合計	925,154	—
特別損失		
固定資産除却損	175,471	161,630
特別損失合計	175,471	161,630
税金等調整前四半期純利益	2,193,716	453,433
法人税等	790,528	736,442
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,403,188	△283,008
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,382,575	△283,008
非支配株主に帰属する四半期純利益	20,612	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,868,651	△206,191
為替換算調整勘定	△724,684	△254,109
その他の包括利益合計	1,143,967	△460,300
四半期包括利益	2,547,155	△743,309
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,526,957	△743,309
非支配株主に係る四半期包括利益	20,197	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,193,716	453,433
減価償却費	1,331,991	1,518,632
のれん償却額	906,120	896,147
長期前払費用償却額	378,873	334,483
賞与引当金の増減額(△は減少)	△18,151	△56,593
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△14,132	13,418
受取利息及び受取配当金	△2,950	△5,843
支払利息	109,536	234,922
投資有価証券売却損益(△は益)	△925,154	—
売上債権の増減額(△は増加)	△16,054,249	△25,956,773
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,367,843	568,462
仕入債務の増減額(△は減少)	6,324,178	10,301,972
その他の資産の増減額(△は増加)	30,848	364,050
その他の負債の増減額(△は減少)	815,851	74,794
その他	351,924	152,267
小計	△3,203,752	△11,106,624
利息及び配当金の受取額	3,237	5,861
利息の支払額	△132,302	△225,847
法人税等の還付額	12,192	38,564
法人税等の支払額	△358,292	△381,012
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,678,917	△11,669,058
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	262,153	208,339
定期預金の預入による支出	△262,153	△308,110
有形固定資産の取得による支出	△1,056,090	△602,481
無形固定資産の取得による支出	△1,318,083	△673,357
投資有価証券の売却による収入	1,144,130	—
投資有価証券の取得による支出	—	△546,750
長期前払費用の取得による支出	△282,404	△176,251
その他	△379,549	△317,022
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,891,996	△2,415,634
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,613,285	△646,765
長期借入れによる収入	—	11,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,000,000	△1,000,000
配当金の支払額	△732,192	△736,591
その他	△161	38
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,880,930	8,616,682
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28,865	△27,014
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,718,849	△5,495,025
現金及び現金同等物の期首残高	11,954,167	19,449,135
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△70,734	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,164,582	13,954,110

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。